



どうぶつレスキューボックス



★アミノクロウサギなど交通事故（ロードキル）で轢かれた動物を発見したら、普段から車に備え付けていただく専用ボックスに入れて運び、治療に繋げて命を救うしくみです。



① ロードキルがなかなかなくなる。

- ・世界自然遺産に登録されましたが、交通事故に遭う動物はいまも後を絶ちません。アミノクロウサギなどの貴重な野生動物の命を少しでも助けたい、そんな気持ちからどうぶつレスキューボックスが生まれました。
- ・正しく、早く動物病院に運ばれば助かる命があります。



② 箱を積んでどうするのか

- ・轢かれた動物を発見したら、まず、**説明書にある対応マニュアルの連絡先（市町村、動物病院環境省など）に連絡して本当に保護、救護が必要か指示を受けます。**
基本は行政職員が判断し、捕獲・搬送を行います。

巢立ちびななど保護の必要のない場合や自然の摂理に任せる場合もあり、すべて救護するわけではありません。

- ・運ぶよう指示があった場合、動物病院などに運び治療につなげてもらいます。
- ・ケガをした動物を道路で発見した場合、そのまま車に積むのは気が引けますし、また動物が車中で動いてしまうリスクがあります。
- ・どうぶつレスキューボックスを車に常時搭載しておくことで、いざというときに助けることが可能です。
- ・保護する指示の場合、箱に入れます。真っ暗にすることで動物のストレスを軽減できます。
- ・過剰に触らない、手を洗うなど説明書に従ってください。

③ どんな箱か

- ・ガムテープ無しで、ワンタッチで組み立てられます。
- ・アミノクロウサギでも入る寸法と、その体重でも底が抜けない強度があります。
- ・普段は平たく畳んだ状態で車に収納できます。
- ・動物病院で治療用の収容箱としても（小型の動物の場合）継続して使える
- ・治療時には、箱の脇の手掛け穴から酸素吸入の管を挿入できる



完成寸法

縦300mm×横400mm×高さ300mm



畳んだ寸法

縦700mm×横420mm×厚み7mm

④ 特に次のような個人、企業様にご協力いただきたいです

- ・毎日通勤などで車を使う方
- ・よく森の中の道を走る方
- ・轢かれた動物を良く見かける方
- ・アマミノクロウサギのファンがある道路を走る方
- ・どうぶつを助けたい気持ちの強い方は大歓迎です。
- ・奄美大島の世界自然遺産の継続に協力したい企業、団体様の通勤車両や営業車両など
- ・SDGsの目標15番「陸の豊かさを守ろう」を推進されたい企業団体様など



⑤ 購入方法

- 販売元 太平電機ECOひいきプロジェクト
住所 221-0825 横浜市神奈川区反町2-15-6 電話045-322-5055
- 受け渡し場所(代金收受代行)(2021.12月現在)
・奄美いんまや動物病院 住所 〒894-0106大島郡龍郷町中勝1569-1
電話0997-62-3310 090-2085-2649

⑥ 普及に向けて

- ・多くの車に搭載することで助かる命が増えていきます。
- ・次の写真のように搭載車に貼るステッカーを別売りで販売します。ステッカーがアピールにつながり、認知度が高まっていきます。
- ・ご利用された企業、団体様は弊社ホームページ等でどうぶつレスキューご協力企業の一覧として掲載させていただきます。

⑦ 価格について

- レスキューボックス 価格 500円(税別) 税込み550円
- ステッカー 価格 200円(税別) 税込み220円



搭載車用ステッカー
楕円型 67mm×58mm



ステッカー貼り付けイメージ



企画・販売元 太平電機(株)ECOひいきプロジェクト

住所 221-0825 横浜市神奈川区反町2-15-6
電話045-322-5055

